

1. 自己評価及び外部評価結果

作成日 平成29年11月28日

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4672900133
法人名	社会福祉法人九十九会
事業所名	グループホーム秋光園
所在地	鹿児島県日置市東市来町長里360-1 (電話) 099-274-3770
自己評価作成日	平成29年10月26日

※事業所の基本情報は、WAMNETのホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	http://www.wam.go.jp/
-------------	---

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	特定非営利活動法人NPOさつま
所在地	鹿児島市新屋敷町16番A棟3F302号
訪問調査日	平成29年11月18日(土)

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

G H秋光園は団地内の高台の日当たり良好な土地にあり、駅やバス停も比較的近くにあり、立地に恵まれております。各居室には、洗面台とトイレがあり、プライバシーが保たれています。自治会との関係は良好で、災害時の連携協定を結び、法人全体での防災訓練も合同で実施しています。G Hに面している「秋光園グランド」では、自治会のグランドゴルフ練習が定期的開催され、自治会の運動会では、入居者の皆様も競技に参加しています。「東市来文化協会」に所属し、文化祭では入居者と職員が作成した「ちぎり絵」を毎年出品しており、文化祭見学や「おたのしみ抽選会」に作品を提供しています。また、本年度から「いきいきサロン」に定期的に参加している入居者もあり、在宅時にお世話になった民生委員さんや近所の方との絆が絶たれないよう配慮しています。ユニット間の交流も盛んで、喫茶や外出支援、「音楽療法」などの行事を合同で実施しています。気候の良い時期は、個別に少数で買物や外食など、職員が率先して、入居者が喜んでくださることを工夫しています。園の周りに小さな畑や花壇があり、散歩や野菜作りに励んでいます。同じ法人の特養が敷地内にあり、特養やデイサービスの行事や慰問を見学することもでき、入居者に喜ばれています。年に2回の家族会や毎月のお便り、面会時などに家族と職員間で交流を深め、受診同行や外出支援など、御家族と職員が連携しながら入居者を支えています。看護師、介護士が連携して入居者の健康管理に努め、ひとりひとりのペースを大事にし、職員と入居者がゆったりと、笑顔で過ごせる毎日を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点(評価機関記入)】

(事業所の優れている点)

- ・併設の特別養護老人ホームや関連施設があり、自治会へ加入し地域の受け入れも良好であり、法人のグランドを解放し地域の方々がグランドゴルフを楽しんだり、夏休みは、ラジオ体操の場として活用されたり、集落の運動会が開催され利用者も、『宝釣り』に参加している。また、利用者と職員は、地域サロンや認知症サロンなどにも積極的に参加し地域交流している。
- ・法人が地域と、「防災協定」を結んでいるため法人との合同避難訓練を実施し、具体的に地域の方の役割分担を決めて利用者、職員も訓練に全員参加するなど防災意識が高い。川内原発から30km離れているが、自然災害だけでなく、二次災害などへの対応や避難方法についても関係機関からの情報収集や、連携を密に図るなど対応策が決められている。

(事業所の工夫されたい点)

- ・年2回、家族会を開催し交流活動や会食を楽しむなどして親睦を深めているが、運営推進会議への家族の参加が少ない。そのため、前回の訪問調査後、「目標達成計画」に課題として掲げ改善に向けて取り組んでいるが、目標達成には至っていないため、行政への働きかけや理解、家族が参加しやすい日程調整を図るなどより多くの家族の参加促進や地域に開かれたサービスとして質の確保が図れるよう取り組まれることに期待したい。

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営					
1	1	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員はその理念を共有して実践につなげている	園内に理念を掲示し、会議等でも確認をしています。	人事考課システムがあり、6ヶ月ごとに自己評価を実施し、今年度から、理念に沿った「個人の目標」を設定して目標の達成に向けて取り組んでいる。地域との関わりを重視した理念であり、外出支援に力を入れ、家族と触れ合う機会も設けている。	
2	2	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	地域の文化祭、自治会の運動会、「いきいきサロン」の参加、地元の講師を招き「音楽療法」などを実施しています	自治会に加入し、地域行事への参加やいきいきサロン、認知症サロンなどへの参加を支援したり、中学生の職場体験など積極的に受け入れしている。職員は、「地域関わり支援日誌」を活用し参考にして次への地域交流の促進につなげている。	
3		○事業所の力を生かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて生かしている	法人全体での花火大会や防災訓練、文化祭参加、など様々な行事を実施しています		
4	3	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	隔月で実施し、入居者やその家族、他事業所、市の担当者、自治会長、民生委員など「顔の見える交流」を実施し情報交換をしています	自治会長や民生委員など、地域の協力体制があり、職員も地域との関係性を大事にしたいと相互の協力関係を築いている。前回、「目標達成計画」にて会議への家族の参加が少ないという課題に取り組んでいるが、家族の参加は少なく管理者は、現状の課題として感じている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
5	4	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連携を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	運営推進会議や法人の事務所、支援センターを通じてアドバイス等を頂いています	地域包括支援センターと協力し、市の主催する認知症啓発イベントへの参加やサロン活動へ協力支援をしたり、GH連絡協議会副会長を務め多方面で協力関係や体制を構築し法人の支援体制がある。	
6	5	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	年3回以上の身体拘束廃止委員会を実施 園長や他の職員と園の状況を把握し、「身体拘束ゼロ」を目標とし実施しています	身体拘束委員会があり、法人（合同）の研修会へ参加して知識や技術を研鑽している。また、センサーマットを活用している利用者については、代替性を検討したり、担当者会議などで廃止に向けての取り組みについて話し合いを重ねるなどしている。居室は、利用者の安定した移動を確保するため、手すり設置、タンスやベットの配置を工夫するなど住環境が整備されている。	
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	合同会議や法人の研修等で必ず「人権」について学び、「虐待防止」を再確認します また職員同士で声掛け等に注意します		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	法人全体で研修をしたり、関連した新聞記事等で学習します		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入所前に契約に関する説明を行い、必ず書面に残して記録します		
10	6	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	年に2回の家族会、面会時などご家族の要望を管理者、各担当職員が聞き取りを行います	利用者から嗜好品や生花を飾りたいなどの具体的な要望があったり、家族から金銭管理の記録についての意見や要望がある。職員は、利用者の日々の暮らしが分かるよう個別のアルバムを作成し、家族とともに利用者の生活が共有できるよう支援している。また、職員は、面談時や行事、家族会の食事会の時に意見・要望を聞く機会を設けている。	
11	7	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	毎月の会議や入居者の変化に応じてその都度管理者を中心に協議し、各担当職員の意見を取り入れています	月1回、スタッフ会議の中で運営会議をおこない職員全員で意見交換しているが、個別面談時も意見、提案を聞く機会を設けている。次年度の新体制に向けて管理業務の引継ぎやリーダー育成を計画的に実施している。また、パート職のシフト調整や職員の休憩時間の確保など、働きやすい職場環境に取り組んでいる。	
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	職員のライフスタイルに応じた勤務時間をロち入れており、処遇改善も事務所に要望をしています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
13		<p>○職員を育てる取り組み</p> <p>代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている</p>	法人内や外部研修に積極的に参加を促し、各自のスキルアップに努めています		
14		<p>○同業者との交流を通じた向上</p> <p>代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている</p>	市のGH協議会やケアマネ協議会に加入し、研修や会議に参加し、交流を深めています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援					
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	入所前に挨拶や情報収集を実施し、入所当日から安心して過ごせるよう努めています		
16		○初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	事前の情報収集に加え、入所当日に担当者会議を実施しています。また要望に応じて状況を連絡しています。		
17		○初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	GHで出来る事、出来ない事を明確に説明し、その時に応じて本人にとって大切なことを実施できるよう話し合います		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係 職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	本人の状況を観察しながら、簡単な家事などお願いし、職員が入居者に「ありがとう」と言える環境を作ります		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
19		○本人と共に支え合う家族との関係 職員は、家族を介護される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	緊急でない受診はまず、ご家族に報告して相談 外出や外泊を可能な限りお願いしています		
20	8	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	帰宅や外泊、「いきいきサロン」参加などで、地域のつながりが途切れないよう配慮します	家族に協力をいただきながら、定期的に自宅訪問や外泊をされる方や、家族と週1回温泉を楽しむ方、地域行事や病院受診、墓参りに行かれる方を支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	入居者同士の交流が難しい場合は職員が間に入り、会話や家事を実施しています		
22		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用〈契約〉が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退所時に相談事があれば、遠慮なく相談してほしいことを告げています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
23	9	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	御家族や職員全員から聞き取りをし、変化に応じてケアの方法を検討しています	担当職員、看護師、計画作成担当者などが、利用者の居室で対面で本人の思いや希望などを聞き取り、家族と情報を共有するようにしている。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活暦や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居前の情報やご家族や友人の話、本人への聞き取りなどをこまめに記録します	/	/
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	本人のペースを大事にし、無理のない「自立支援」を念頭に入れ、ケアします	/	/
26	10	○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している	スタッフ間では「申し送り」「ノート」「ホワイトボード」などで情報を共有します。ご家族には面会時に状態報告や要望を聞いています	利用者の情報は、申し送り時にしたり、連絡ノート、ホワイトボードに記録し、情報の共有に努めている。モニタリングについては、利用者ごとに異なるが、見直しも含めて定期的実施している。意志表出の難しい方については、本人の発した言語をそのままに1表に記載するなど、本人の役割や参加が伺える本人主体の介護計画になっている。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
27		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌や個別台帳に細かく記録したり、口頭で伝えたり、情報を共有しています		
28		○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる	その方に応じて、外出や、墓参り、いきいきサロンなど家族と協力しながら実施しています		
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らし方を支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	地域の文化祭、運動会、いきいきサロンなど職員が同行し、積極的に参加を促しています		
30	11	○かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	家族と本人の要望に応じて主治医を決めています 月1回内科と認知症専門医の訪問診療も実施しております	本人が望むかかりつけ医であり、訪問診療を受けたり、皮膚科など他科受診は家族の協力をいただいている。また、訪問歯科診療、認知症専門医の訪問や薬剤師との連携があり、看護師が配置され医療連携支援が図られている。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	小さな変化でも看護師に報告、相談し入居者の健康管理に努めます バイタル測定などは介護職員も協力します		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
32		<p>○入退院時の医療機関との協働</p> <p>利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。または、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている</p>	入院時は家族や病院の相談員に連絡をとり、状況確認や退院後の生活について話し合います		
33	12	<p>○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援</p> <p>重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人や家族等と話し合いを行い、事業所でできることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる</p>	入所契約時に管理者から文書で説明し、家族会でも確認します 入居者の状況に応じて担当者会議を開催し、御家族が不安を感じることをの無い様配慮します	入居時は、急変時の治療の方針や重度化した場合の治療の方向性について十分に説明、文書を交わし、看取りに関する意志確認書もいただいているが、ホームは看取りの体制がないため、利用者や家族が納得のいく最期を迎えられるよう医療機関や施設などを紹介し連携を図るなど柔軟に取り組んでいる。	
34		<p>○急変や事故発生時の備え</p> <p>利用者の急変や事故発生時に備えて、すべての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている</p>	事故や急変に関してマニュアルを作成し、会議等でも研修を実施し、確認します		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
35	13	<p>○災害対策</p> <p>火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている</p>	<p>会議の際に非常ベルや消火器の確認をします 法人全体で地域と協力しながら防災訓練を実施しています</p>	<p>今年、防災無線を設置し避難訓練には、利用者や地域、職員全員が訓練に参加している。地域とは、法人が防災協定を結んでいるため、避難訓練では、役割分担も含め確認をおこなっている。また、消防からは、風水害による避難訓練の実施を進言されている。災害グッズや備蓄が備えられている。</p>	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
36	14	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	日常生活では入居者の同意を得ながら介助を実施しています また各居室にトイレと洗面所があり、プライバシーが保たれています	来月、「倫理・個人情報」についての研修を計画している。トイレは居室に設置してありアコーディオンカーテンがつけてある。利用者の呼びかけは、利用者ごとに対応が異なるが、年長者として敬い失礼のないよう取り組んでいる。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	食事メニュー選びや更衣などささいなことでも選択の自由を尊重し、自己決定する場面をつくれます		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	出来る限り日勤帯に職員数に余裕を持たせ、外出や帰宅など個別の要望に沿えるよう配慮しています		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるよう支援している	各居室の洗面台に櫛など置き、整髪や化粧など、個人の好みで実施できるよう支援しています		
40	15	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	湯のみの片付け、もやしの根取り、台拭きなど、その方の能力や意欲に応じた作業をお願いします	利用者は、能力に応じて調理の下ごしらえなどを手伝って下さったり、個別での外食や家族会での会食、花見やクリスマス会の弁当を楽しんでいる。また、地域から野菜の差し入れなどがある。	

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	地元の物産館や鮮魚店を利用して、旬のものを提供し、在宅に近い状態で食事を楽しめるよう工夫しています		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の臭いや汚れが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、能力に応じて声掛けや介助により口腔の清潔を促がしています 歯科受診は御家族にお願いしています		
43	16	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	各居室にトイレがあり、なるべく自力で排泄できるよう援助します 排泄状態を記録し、失禁を減らすよう配慮しています	布下着の方で今年、百歳を迎えた方もおられたり、居室にトイレが設置してあることが、なにより安心だと満足されている利用者もおられるなか、職員は、排泄の自立支援はもとより、排泄のリズムを整え失禁が減らせるよう日々取り組んでいる。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	園外活動等、体を動かす機会を積極的につくり、食物繊維や乳酸菌摂取努め、自然な排泄を促がしています 排便困難者は主治医と相談しながら薬の調整を行っています		

自己評価	外部評価	項目	自己評価		外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容	
45	17	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援している	基本的に週2回以上入浴を実施しています 職員と1対1で対応し、ゆったりと入浴を楽しめるよう配慮しています	体調を見ながら、週2～3回程度は入浴ができるように配慮している。入浴や着替えなどを面倒に思われる方もおられるが、職員や曜日などを変更するなどして本人のタイミングで気持ちよく入浴を楽しんでいただいている。		
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	御家族や本人の希望に応じ、寝具や温度調節に気をくばっています			
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師が中心となって主治医や御家族と相談しながら、服薬支援を実施しています 変更等は口頭、ノート、ホワイトボード等で申し送りしています			
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活暦や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	本人の生活暦や趣味に応じて簡単な編み物、手芸、園芸、貼り絵、塗り絵など職員が支援しています			
49	18	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるように支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	季節の良い時期は毎月の計画以外でも、個別に外出を支援しています 家族と協力し、外出の機会を増やすよう配慮しています	利用者は、毎日、ごみ出しを手伝ったり、自動販売機に飲み物を買に行ったり敷地を散歩している。行きつけの理美容院や墓参り、ドライブなど、年間行事計画を作成し、毎月1回は個別や家族の協力をいただきながら外出ができるよう取り組んでいる。		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		<p>○お金の所持や使うことの支援</p> <p>職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している</p>	<p>現在、A棟の入居者では自分で金銭管理をしている方はいません 家族の同意の元、お小遣いを預かり、希望に応じたものを購入し、家族に確認してもらいます</p>		
51		<p>○電話や手紙の支援</p> <p>家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援している</p>	<p>居室に電話のある方はいませんが、気軽に電話をかけられるよう配慮しています 希望に応じて手紙を書くことを支援し投函しています</p>		
52	19	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱を招くような刺激（音、光、色、広さ、湿度など）がないように配慮し、生活感や季節感を取り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p>居室内は希望に応じて配置を実施しています 共有の場所は季節の飾りつけや写真を飾り、御家族も楽しめるよう配慮しています</p>	<p>玄関から、食堂兼リビングの雰囲気が伝わってくる造りになっており、左右に居室が配列されている。廊下も広く、途中で休憩ができるよう長椅子が設置されている。採光もありオープンキッチンから料理の匂いや音が聞こえるなど家庭的な雰囲気に包まれている。壁面には、干支のちぎり絵や作品が掲示され季節の生花が活けてある。また、玄関外のプランターの花々も来訪者の目を楽しませてくれている。</p>	
53		<p>○共用空間における一人ひとりの居場所づくり</p> <p>共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている</p>	<p>廊下や窓際にソファを置き、気の合う同士、日光浴や談話を楽しめるよう配置しています</p>		

自己評価	外部評価	項目	自己評価	外部評価	
			実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	20	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使用していたタンスや家族の写真を飾り、明るく親しみをもてる空間づくりを目指しています	居室は、本人が移動しやすいよう手すりを活用したり、ベットや家具の配置を考えて、移動や排泄の自立が図れるよう工夫されている。居室でテレビを楽しんだり新聞を読む方、編み物をされる方など思い思いに過ごせるよう配慮している。	
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	居室が広いのでベッド位置はそれぞれ本人の歩行状態により変えています 手摺りや場合に応じ、センサーマットを使用し、安全に努めています		

V アウトカム項目

56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目：23, 24, 25)	○	1 ほぼ全ての利用者の
			2 利用者の2/3くらいの
			3 利用者の1/3くらいの
			4 ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員と一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目：18, 38)	○	1 毎日ある
			2 数日に1回程度ある
			3 たまにある
			4 ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目：38)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿が見られている。 (参考項目：36, 37)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目：49)	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない

61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目：30, 31)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
62	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により安心して暮らしている。 (参考項目：28)		1 ほぼ全ての利用者が
		○	2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ全ての家族と
		○	2 家族の2/3くらいと
			3 家族の1/3くらいと
			4 ほとんどできていない
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目：9, 10, 19)		1 ほぼ毎日のように
		○	2 数日に1回程度ある
			3 たまに
			4 ほとんどない
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目：4)		1 大いに増えている
		○	2 少しずつ増えている
			3 あまり増えていない
			4 全くいない

66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目：11, 12)	○	1 ほぼ全ての職員が
			2 職員の2/3くらいが
			3 職員の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	1 ほぼ全ての利用者が
			2 利用者の2/3くらいが
			3 利用者の1/3くらいが
			4 ほとんどいない
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。		1 ほぼ全ての家族等が
		○	2 家族等の2/3くらいが
			3 家族等の1/3くらいが
			4 ほとんどいない